

「与路小・中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

瀬戸内町立与路小・中学校

2 学年・人数

小学生 6 人（1 年男子 1 人，3 年男子 1 人，4 年女子 1 人，5 年男子 1 人
6 年女子 2 人）

中学生 2 人（1 年女子 1 人 3 年男子 1 人） 計 8 人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和 2 年 7 月 6 日（月） 授業参観（保護者も一緒）にて練習（本校体育館），令和 2 年 9 月 23 日（水）八月踊り練習（本校校庭）

(2) 発表の日時・場所

令和 2 年 10 月 3 日（土） 秋季大運動会（本校校庭）

令和 2 年 11 月 7 日（土） 学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称 八月踊り

(2) 由来

旧暦八月最初の丙の日に行われるアラセツ（新節）は，正月にも勝る大切な日とされていた。初丙なので，ヒノエまつりともよばれ，火の用心とか火災予防のお祈りの行事であるという言い伝えもある。このようなことから，いつしか踊りが生まれ，伝承されてきた。この八月踊りは，アラセツの前の晩から始まって，集落の広場に大勢の人が集まり，夜半まで八月踊りを楽しんでいた。この日から十五夜まで毎晩八月踊りをしていた。

(3) 構成等

八月踊りは，老若男女が輪になり声を掛け合って踊る。与路島で踊られるのは，「しょうしれやれ」「やいきよら」「ちくてんぐわ」「やしゆりゃ」「ぬやまくじょ」「どんどんぶし」「しょどんながはま」「さんぬながね」の 8 曲である。

5 保存会や地域との連携について

保存会は特にないが，郷土の歴史や伝統文化の理解・保護・伝承発展のために地域と連携して，創意や総合の時間に八月踊りの練習を設けた。講師は地域の方々へお願いし，例年は 2 回指導をしていただく。講師の方々が踊るのを見よう見まねで踊っていく。運動会は練習の成果を発表する場であるが，地域の方や来賓等の方々にも一緒に八月踊りを踊っていただいている機会を得られている。学習発表会でも劇の発表に取り入れて披露をしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- ・ 八月踊りを継承していくために、学校と地域が連携協力しながら学習を行った。
- ・ 保護者にも参加していただくために、授業参観・学級PTAの日に合わせて練習を行った。
- ・ 学習した「八月踊り」を発表する場をできるだけたくさん設けた。（運動会・学習発表会など）

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



運動会での発表



練習の様子

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

（児童生徒）

- ・ 最初は、難しくてうまく踊れなかったが、踊れるようになったら地域の方が褒めてくれて嬉しかった。

（教職員）

- ・ 地元の子供たちはもちろん、海の子留学生の子供たちも意欲的に取り組むことができた。踊るだけではなく、背景にある歴史などを学ぶことで与路島に対する愛着も強くなると思うので、より力を入れていけたらと思う。

また、練習時間は短いですが、地域の方々が直接教えてくださったり、保護者が参加してくださったりすることで地域への活性化にもつながるのではないかと。今後も継続していきたい。